

2017年6月30日(金) 中日新聞朝刊(第23面)

命の大切さを訴える腰塚さん
〓 東海市の東海商業高で



命の大切さ訴え 腰塚さんが講演

東海商業高

不慮の事故で大けがを負いながら再起した元中学校教諭、腰塚勇人さん(五)〓神奈川県伊勢原市〓が二十九日、東海市の東海商業高校で「命の授業」と題して講演した。

全校生徒約八百九十人を前に、腰塚さんは十五年前にスキーの転倒事故で首を骨折して首から下が動かなくなり、自殺を図るほどに

絶望しながらも、周囲の支えで再起を決意、自力で歩けるまでに回復した経過を説明。懸命のリハビリを振り返りながら「助けてもらった命だからこそ、自分の命を真剣に使おうと誓った」と述べた。

「失敗の反対語は成功ではなく、何もしないこと」と常に本気で挑戦や努力を続けることとの重要性を強調。さらに「この世で一番大切な人は自分自身。自分を大切にしない人は決して他人も大切にできない」と指摘し、「自分と自分の大切な人の命が喜ぶような生き方を」と呼び掛けた。